

事務事業名 児童生徒通学支援事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：567

施策：	18	学校教育の充実	財務コード	01090103-11-00
基本事業：	01	教育環境の整備	担当部	教育部
基本事業の成果指標	学校施設維持管理の不都合・トラブル件数		担当課	学校教育課
			担当係	学校教育担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和54年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
天拝小校区児童、天山地区児童、平等寺地区児童、二日市東小校区児童、馬市地区児童		<ul style="list-style-type: none"> ・天拝小校区において、交通量が非常に多い交差点、危険箇所の登下校時の安全のため、指導員による安全指導業務を委託。（シルバー人材センターへ委託、朝夕2回、1日大門方面2名、塔原地区2名） ・天山地区児童の登下校時のスクールバス運転業務を委託。（シルバー人材センターへ委託、1日朝夕各2往復） ・平等寺地区児童下校時、バス待合い室の監視業務を委託。（平等寺子ども会へ委託、1日1名） ・平等寺地区児童通学のため、積雪時の除雪作業を委託。（H30年度は除雪作業実施なし） ・二日市東小校区において、交通量が多い交差点、危険箇所の登下校時の安全のため、指導員による安全指導業務を委託。（シルバー人材センターへ委託、朝夕2回、1日2名） ・馬市地区児童の登下校時のスクールタクシーの運行を委託。（1日朝夕各1往復） 				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
児童の通学における安全を確保する。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
安全確保された対象地区児童数	人	944	939	1,000	1,000			1,000

5. コスト								
事業費	計	千円	9,419	8,260	9,307	11,341		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	9,419	8,260	9,307	11,341			
正職員人工数	人工	0.25	0.25	0.25	0.3			
正職員人件費	千円	1,999	2,022	2,016	2,396			
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	11,418	10,282	11,323	13,737			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	対象地区児童に対し、スクールバス、スクールタクシーの運行や、通学指導業務委託等実施により、通学の安全確保ができた。 ここ数年、大雨等の悪天候の日が増加しているため、登下校時間が変更した場合でも、通学支援ができるよう各小学校と緊密に連携を図った。 【平成30年度実績】 天拝小安全指導業務201日。天山スクールバス運転業務201日。平等寺地区バス待合い室監視業務149日。平等寺地区除雪作業0回。二日市東小安全指導業務205日。馬市スクールタクシー運行業務200日。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
阿志岐小移転に伴うバスによる通学支援をH4年より開始。天拝小分離新設に伴いH14より交通安全指導を開始。筑紫東小分離新設に伴い馬市地区はタクシー通学支援を図っている。平等寺小廃校に伴い平等寺地区が積雪時、除雪実施。二東小の狭小通学路の安全確保のため、指導員の配置をH21年度より実施。	通学区域内の交通量は増加傾向にある。安全対策上、今後もスクールバスによる通学、危険箇所の交通安全指導、タクシーによる通学上の安全確保、除雪作業を行うことが地元保護者より要請されている。